

可也小学校6年生 人権標語 入賞作品



前号に可也小学校6年生103名の人権標語作品を掲載しました。作品を見てみると、あたたかい気持ちになりました。ありがとうございます。今年度は、最優秀賞を2名、優秀賞を3名とし、12月6日に行われた、人権映画祭の冒頭で表彰式を行いました。

最優秀賞

考えて 刺さらないかな その言葉

やめようね じぶんがされて

いやなこと

優秀賞

ありがとう ごめんをいえる

人になろう

笑顔はね 元気をくれる 魔法だよ

差別ない 平和な世界 つくろうよ



人権標語の入賞 5 作品は、来年 11 月までの 1 年間、火山山頂と可也山山頂展望台の2か所に掲示されています。登山の際には、どうぞご覧ください。

街頭啓発活動

映画祭の開催に合わせて、イオン糸島ショッピングセンターの入り口付近で実施しました。



ウェットティッシュを配布しました。

人権映画祭

12月6日実施

上映作品

老後の資金がありません



6年生人権標語表彰式の様子

「これからのをどのように生きるか」をテーマにした映画でした。一人ひとりの今と重ね合わせられ、グッとくる場面もあったようで、好評でした。多くの方のご来場ありがとうございました。

◎ 映画の感想をいくつか紹介します。

老後はついて来る。人付き合いの大切さを考えさせてもらいました。楽しく最期まで生きたいものです。そんなことを教えてくれたいい映画でした。

先のことをくよくよ考えても、なるようになるということですね。生きるカテになりました。

それぞれの生き方があるのだと選択肢が増えました。

子育て・就職・老後・介護などお金のことについて考えさせられた内容でした。人生ほどほどに、人それぞれが心持ちを明るく、幸せに暮らしていければいいなと思いました。

戦後80年、平和を誓った戦後の原点に学ぶ

◎スケジュール

針尾送信所(旧佐世保無線電信所)



明治～終戦
当時の日本の
通信技術
について



↓
浦頭引揚 第一歩の地

終戦直後、諸外国から帰国された
人々の生活について

↓
無窮洞



戦争中に小学生
達が掘った巨大
な防空壕の見学



↓
海上自衛隊 佐世保資料館

戦後の佐世保や自衛隊について

10月30日に佐世保市に行ってきました。

針尾送信所では戦前の日本の最新技術を目の当たりにしました。
また、浦頭平和記念公園では、戦後間もなく海外から引き揚げて来られた方々の日本第一歩の地として、激動の時代を生き抜かれたことに思いを馳せました。

無窮洞では、戦火を免れるために、小中学生の子どもたちによって掘られた洞窟について説明をうけ、戦争と平和について改めて考えさせられました。

◎参加者の感想より

・初めて聞く事・知られる事を学びました。戦争の中で自分を守る為、そして国を守る為に尽力されて来たのだと知らされました。今後は、戦争・争い事はやっては、あってはならないと思う。人と人とのかわりや、命の大切さを学びました。

・佐世保の戦争に係わる深い歴史があることがわかった。特に無窮洞や浦頭の引揚地を通して、戦争時の人々の想いを肌で感じ、戦争がない世界を強く願う。

・昨今の世界情勢を思うと、考えるところが多くあります。

地域の人権学習会

・11月2日(日) 稲留行政区

「ヤングケアラーについて」

・11月15日(土)大石行政区

「8050 問題について」

各公民館で開催されました。

稲留の人権学習会



ヤングケアラーについて学び、身近な問題であることを認識すべきであると実感した学習会でした。

大石の人権学習会



「8050 問題」を具体的に学び、日々の中に隠れているさまざまな課題について気づく学習会となりました。

◎人権の花 ひまわり運動

可也小学校3年生が種から花を育てて収穫したひまわりの種と優しい気持ちを風船に付けて、10月2日、一斉に飛ばしました。約100個の風船は空高く飛んでいきました。

遠くの誰かに3年生の気持ちが伝わったことでしょう。



人 KEN あゆみちゃんも

参加しました！



とんでいく風船

3年生の感想をいくつか紹介します。

「ひまわりの学習を通して思ったことは？」

・わたしはひまわりをそだてました。どんどのびて大きくなりました。これからもみんなをにこにこにしたいとおもいます。

・わたしは、友だちの心、自分の心を大切にしていこうと思いました。こうちゃん先生が「人けんは、みんなが持っているおももり」と言ってくれたからです。

・わたしは、友だちにやさしくできるようになりたいです。理由は、やさしくすると、友だちもうれしいし、じぶんもうれしいからです。